

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 25.11.8 第 185 回国会第 4 号

11 月 8 日（金）、第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 国際情勢に関する件

- ・岸田外務大臣、三ッ矢外務副大臣、石原外務大臣政務官、小里農林水産大臣政務官、若宮防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 玄 葉 光一郎君（民主）

- ・中国が台頭し、日米欧の影響力が低下する等世界のパワーバランスが変化する中で、政府はどのような外交方針を持っているのか。
- ・我が国はソフトパワーとしての世界におけるルール形成力を強化し、併せてアジア太平洋地域において法の支配や民主主義等の価値観の形成を主導していくべきではないか。
- ・TPP交渉において、報道でいう我が国の重要 5 項目に分類される 586 品目の内訳を、政府が公表しない理由は何か。

### 玉 城 デニー君（生活）

- ・日米安全保障協議委員会（「2+2」、平成25.10.3）共同発表の在日米軍再編部分の記述に関し、移転する9,000人の海兵隊員の内訳、移転予定地、そして移転時期はどのようなになっているか。
- ・在日米軍の再編によって、我が国の抑止力が低下するとの意見があるが、これに関し、政府はどのような見解を持っているか。
- ・日米「2+2」共同発表を踏まえ、今後の米軍の我が国国内における配備について、政府はどのような方針を持って、米国と協議を行っていくのか。

### 小 熊 慎 司君（維新）

- ・インドやミャンマーへの我が国企業の進出を支援するために、政府はどのような取組を行っているのか。
- ・ODA予算について、今年度は若干増額され、来年度も増額要求しているが、もっと増額すべきではないか。

- ・日・トルコ原子力協定について、第8条に両政府が書面により合意する場合に限り、トルコにおいて、ウラン濃縮・再処理ができると規定され、また、他国との協定では作成されている合意議事録がトルコについては作成されていないのはなぜか。

### 杉 本 かずみ君（みんな）

- ・一般旅券の発給を行っている地方自治体に対し、利便性等の観点から発給事務所の設置場所等について外務省が助言を行う必要があるのではないか。
- ・安倍総理大臣のトルコ訪問（平成25.10.28～29）にはどのような目的があり、どのような成果があったのか。
- ・野田政権下で行われた尖閣諸島「国有化」（平成24.9.11）について、その実施時期及び「国有化」という行為に対しどのように評価しているのか。

### 笠 井 亮君（共産）

- ・ヨルダン原子力委員会が同国初の原発プロジェクトの優先交渉権をロシアの企業に付与することを決定した3要因の具体的内容とは何か。
- ・ヨルダン原子力委員会が安全性の観点から日・仏合弁企業に優先交渉権を付与しなかった背景には福島第一原発事故が影響しているのではないか。
- ・我が国政府は諸外国への原発輸出を推進するのではなく、福島第一原発事故の収束に向け内外の英知を集中させて取り組むべきではないか。

## 2 社会保障に関する日本国とハンガリーとの間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第7号） 障害者の権利に関する条約の締結について承認を求めるの件（条約第8号）

- ・岸田外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。